

▲左から近藤市長、安来市医師会 杉原整会長、安来 地域介護保険サービス事業連絡会 杉原建会長。

医療現場に防護服を寄贈

新型コロナウイルス感染症に対する医療活動支援として、4月28日、市が備蓄していた防護服100着を一般社団法人安来市医師会へ寄贈。併せて、なかうみマラソン実行委員会(会長:安来市長)からは、同医師会へ雨合羽300着、安来地域介護保険サービス事業連絡会にスポーツタオル400枚を寄贈しました。雨合羽やスポーツタオルは、診療時や特別養護老人ホーム等での運動時に利用されます。

同医師会の杉原整会長は「市内でも防護服が不足 し、雨合羽を代用している医療機関もある。今後、 有効に使わせてもらいます」と話していました。



自宅に居ながらオンライン授業

学校が臨時休業中の4月23日、第三中学校で3年2組の生徒を対象にオンライン授業の実証実験が行われました。市内初の取り組みとなったこの授業は、昨年度、市内小中学校に整備したタブレット端末などを活用して実施。テレビ電話機能をもつソフトを使い、遠隔授業が正確に行えるか検証しました。参加した生徒からは、「対面の授業と変わらずスムーズに聞けた」といった肯定的な意見がでる一方

で、「複数人がマイクをオンしていると聞き取りに



度ちの話題や出来事を紹介します

このマークの記事は、関連写 真を「市公式フェイスブック (FB)」で公開しています。





関西と山陰をつなぐ「WEST EXPRESS 銀河」。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、乗 客なしで試験運行されました。本格運行が待 ち望まれます。(4月 18日 飯梨川左岸)

今月の一枚



◀カメラに向かって、数学の授業を行う 青戸祐樹教諭。

くい」といった課題も出ていました。

授業後には、教壇に立った教諭や見学した学校関係者が技術的な質問をしたり、授業を進めていくうえで工夫すべき点などを話し合ったりしました。

市学校教育課の福井秀樹指導主事は、「休業中の 授業の遅れを軽減するため、第三中学校に協力いた だき実現しました。引き続き、オンライン授業を試 験的に実施・検証し、双方向の授業を目指していき たい」と話していました。

※オンライン授業とは、インターネット回線を通じてパソコン等を使用し授業を受けること。

